

ある。然ればその後延享五年政昌・貴林の二人が卒し、大老の職名が止んでから、専ら公儀御用が職名になつたのであらう。寶曆元年の頃は前田對馬守孝資・奥村丹後守修古が公儀御用となり、爾後連綿して二人役となつた。公儀御用は、幕府の命令傳達その他一切の用務を取扱ひ、朝廷の用向もその管掌する所であつた。

コウギマチ 高儀町 金澤の町名で、初は公儀町と書いた。元祿・享保頃までは、藩侯の事を世俗に公儀と稱し、幕府を大公儀と呼んだが、こゝに藩の用地があつた爲この町名を生じたものらしい。後に高儀としたのは幕府を憚つたからであらう。

コウキヨウジ 光教寺 金澤五寶町に在つて、眞宗西派に屬する。本願寺諸末寺譜に、蓮如の男蓮雲康兼、江沼郡山田に光教寺を開基し、山田光教寺とも山田坊主ともいうた。蓮雲の後は子蓮能玄宗嗣ぎ、次いで蓮能の弟顯發兼順が受け、これで血統は絶えたのである。後世延寶五年に至り、寺を金澤なる西本願寺別院の境内に移した。今の所即ち是である。

コウギヨウジ 光行寺 珠洲郡蛸島に在つて、眞宗東派に屬する。
コウキンオウカン 江金往還 一冊。由比勝生著。江戸から金澤までの宿驛村邑を記し、その地の名所舊蹟古歌をも略記したものである。

コウゲイ 慶藝 財園房と號する。嘉祿二年四月十八日白山別當職に補せられ、同年九月六日逝去したことが白山莊嚴講中記録に見える。

コウゲツイン 江月院 加賀藩祖前田利家の子利貞の法號。詳しくは江月院照額永秋大居士。

コウゲツチ 高月池 能美郡釜清水に在つて、吉野十景の一つである。江月池とも般月井ともいふ。周廻四十間、深さ九尺、形瓢の如くであり、固より薪水があつたが、後地震に因つて裂罅を生じ、今はその跡のみとなつた。

コウケン 康兼 ↓レンセイ 蓮雲。
コウケンイン 高源院 加賀藩祖前田利家の子福胤の法號。詳しくは高源院桂岩昌久大居士。
コウケンイン 高源院 大聖寺藩主第六代前田利精の法號。詳しくは高源院天然良池大居士。

コウケンイン 高源院 金澤天神町に在つて曹洞宗に屬する。山號は福母山。開祖春覺和尚は、前田利家の息女福胤の縁類として取立てられたから、その恩を謝する爲寛永十八年大豆田に當寺を建て、福胤の法號によつて高源院と稱した。然るに萬治二年その寺地を召上げられ、代地を與へられなかつたので、今の所を請地として寺を建立した。

コウケンイン 光現院 加賀藩主第六代前田吉徳夫人徳川氏の法號。詳しくは光現院鏡樂園清大姉。
コウケンジ 光顯寺 鹿島郡野崎に在つて、眞宗西派に屬する。
コウケンジ 高源寺 珠洲郡白丸に在つて、眞宗西派に屬する。

コウケンジ 高源寺 珠洲郡白丸に在つて、眞宗西派に屬する。

コウケンジ 光現寺 河北郡越中坂に在つて、眞宗東派に屬する。諸家分脈系圖に、弘願寺二代玄教(文明元年六月寂)の二子玄信を開祖とするもの是であらうが、光現寺の所在を加州寺尾とあつて、その寺尾の地は今不明である。

コウケンジ 光現寺 鳳至郡寺地に在つて、曹洞宗に屬する。開山は永光寺五代重庵至簡で、延徳二年の草創。初め大聖山といふたが、後に玉峰山と改めた。能登名跡志寺地村の條に、『上の寺といふ禪宗あり。』といふものは是であらう。

コウケンジ 光源寺 河北郡木津に在つて、眞宗西派に屬する。初は東派であつたが、正保四年轉派したといふ。
コウケンジ 光源寺 鹿島郡下曾禰に在つて、眞宗東派に屬する。
コウケンジ 光玄寺 能美郡串に在つて、眞宗東派に屬する。
コウケンジ 廣玄寺 鹿島郡庵に在つて、眞宗西派に屬する。

コウコウケンムキジユツ 句股弦無奇術一冊。享和三年金澤の三池流算者馬淵文郎の著したもので、整數法を述べたものである。
コウゴウセツキ 交合説記 ↓ブンケンコウロク 聞見交録。

コウコヨロク 好古餘録 一冊。森田平次編。安政元年著者が能登を一巡した時、後證となるべき古器物等を石花墨で摺つたものゝ蒐集である。
コウザ 高座 能美郡山上郷に屬する郡落。
コウサイジ 廣濟寺 金澤御小人町に在つて、眞宗東派に屬し、世に武佐の廣濟寺と呼ぶ。

コウサイジ 廣濟寺 金澤御小人町に在つて、眞宗東派に屬し、世に武佐の廣濟寺と呼ぶ。

ぶ。文龜元年近江武佐廣濟寺の弟祐乘が、本願寺の命によつて金澤御坊に下り看坊となつたに起る。その二代は明らかでないが、天文日記十五年十月二十九日の條に、金澤御坊へ『爲堂衆廣濟寺慶信下之』とあるものはかと思はれる。三代祐盛の時、天正八年佐久間盛政は金澤御坊を陥れ、廣濟寺は安江郷に移つたが、四代祐玄の寛永十二年火災に罹り、十四年今の寺地を賜はつて再建したといふ。

コウサイジ 廣濟寺 河北郡領家に在つて、眞宗東派に屬し、英田廣濟寺と呼ばれる。貞享二年の由來書に、開祖光受永正八年加賀郡英田郷領家に建立し、慶長二年金澤安江木町(今の英町)に移轉したとある。明治十六年また領家に歸つた。
コウサイジ 廣濟寺 羽咋郡町居に在つて、眞宗西派に屬する。初め安永元年蓮徳之を金澤本願寺別院内に建てたが、明治六年河北郡談議所に移り、二十三年四月更に今の地に轉じた。

コウサイジ 光濟寺 羽咋郡代田に在つて、眞宗東派に屬する。
コウサイジ 光西寺 羽咋郡今濱に在つて、眞宗東派に屬する。
コウサイジ 仰西寺 金澤三所町に在つて、眞宗東派に屬する。

コウサイジマチ 仰西寺町 金澤の舊町名。仰西寺があるに因つて名を得た。
コウサイズイヒツ 恒齋隨筆 四冊。恒齋は田中式如のことである。第一冊は國郡農兵・姓氏以下の考證であるが、第二冊以下は諸神記の寫に過ぎぬ。明和三年夏式如の養嗣子知顯の序文がある。

コウサイズイヒツ 恒齋隨筆 四冊。恒齋は田中式如のことである。第一冊は國郡農兵・姓氏以下の考證であるが、第二冊以下は諸神記の寫に過ぎぬ。明和三年夏式如の養嗣子知顯の序文がある。